

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
330016	X-21-B-3-330016	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択	2年
日米関係論	中村 起一郎			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	2年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

#### 授業目的

20世紀において長く「超大国」として君臨したアメリカは、かつてのような影響力は失われつつあるが、依然として強大な軍事力と経済力を有し、独特の外交理念をふりかざす大国であることに変わりはない。世界の主要国は、アメリカとどのように付きあうかにいつも頭を悩ませてきた。もちろん日本もその国の一つだ。時に積極的に、時に苦渋の決断を迫られながら、いくつもの選択が積み重なって現在の日米関係が作られている。

この講義では、現在の日本外交の基軸となっている日米の同盟関係がどのように形成されてきたのか、主に政府レベルの政策決定過程に焦点を当てながら分析する。高校時代の日本史、世界史、大学で学んだ日本政治や国際政治などの知識を利用しながら、日米関係が日本と世界にとってどのような意味を持っているのかを考えたい。

#### 各回毎の授業内容

<p><b>第1回</b> 【授】イントロダクション 北朝鮮問題と日本外交 【前・後】予習復習に4時間充たす(以下同様)。授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第2回</b> 【授】冷戦と日米安保(1) サンフランシスコ講和条約と日米安保条約 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第3回</b> 【授】冷戦と日米安保(2) 安保改定から沖縄返還へ 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第4回</b> 【授】冷戦と日米安保(3) 新冷戦と「大国」日本 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第5回</b> 【授】冷戦終焉のインパクト(1) 外交：湾岸戦争からPKOへ 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第6回</b> 【授】冷戦終焉のインパクト(2) 安全保障：政党政治の崩壊 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第7回</b> 【授】中国の台頭と東アジア情勢(1) 中国経済のインパクト 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第8回</b> 【授】中国の台頭と東アジア情勢(2) 東シナ海・南シナ海の海洋秩序 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p>	<p><b>第9回</b> 【授】中国の台頭と東アジア情勢(3) 日本の防衛戦略の転換 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第10回</b> 【授】北朝鮮危機の構図(1) 北朝鮮はどのような国か 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第11回</b> 【授】北朝鮮危機の構図(2) 北朝鮮の核・ミサイル問題の経緯と展望 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第12回</b> 【授】日本の安全保障と日米同盟(1) ミサイル防衛、集団的自衛権 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第13回</b> 【授】日本の安全保障と日米同盟(2) 沖縄の基地問題 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第14回</b> 【授】歴史問題(1) 戦後和解の日独比較 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第15回</b> 【授】歴史問題(2) 「歴史戦」をどう捉えるか 【前・後】前回の講義ノートを見直しておくとともに、授業中に指示したテキストもしくは配付資料の該当箇所を熟読しておくこと。</p> <p><b>第16回</b> 【授】試験 【前・後】講義ノートをもとに試験の復習</p>
---	---

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							100
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

定期試験の評価を基本とするが、プラスαとして、授業内レポート(コメント)や授業への参加などの要素を加味する。授業内レポート(コメント)の一部は、次の授業で共有する。

#### 教科書参考書

教科書は特に指定しない。参考文献は講義中に適宜紹介するが、日本外交の流れを追うのに有用な概説書として、次のものを挙げておく。  
 五百旗頭真・編『第3版補訂版 戦後日本外交史』有斐閣、2014年  
 井上寿一『新版 日本外交史講義』岩波書店、2014年  
 北岡伸一『日本政治史』有斐閣、2011年  
 五百旗頭真・編『日米関係史』有斐閣、2008年  
 細谷千博『日本外交の軌跡』NHK ブックス、1993年

#### 受講に当たっての留意事項

日本政治史、国際政治学、国際政治史、アメリカ史概説を受講済または受講中であることが望ましい。私語は厳禁。質問は授業中でも授業の前後でも歓迎します。

#### 学習到達目標

日本外交における日米同盟の効用と制約について、多面的に考えられるようにする。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習